

教育ボランティアだより No.34

～一人一人の子どもと向き合うことの大切さ～

2023年2月1日 教育ボランティア委員会

甲府市立東中学校訪問・・・12月14日（水）訪問

訪問者：池山洋子

今回、訪問させていただいた甲府市立東中学校は、18学級、624名の生徒が学んでいます。教育ボランティアの学生の皆さんは、それぞれの学年で教育支援活動をしています。当日はお忙しい中、鈴木校長先生、石澤教頭先生ほか、多くの先生が対応してくださいました。

今回、3年生の国語の授業を参観しました。ここでは小高さん（言語教育コース1年）が、教育ボランティアとして活躍していました。生徒一人一人に寄り添い、丁寧な支援をしようと取り組んでいました。

小高さんに聞いてみました

教育ボランティア活動をしようと思ったきっかけは何ですか。

入学時から先生になりたいという気持ちが強くて、早い段階から、教育現場を見て生徒と関わる機会を増やしたいと思ったからです。また、教育現場でのICT活用、ギガスクール構想に関心があり、現場を経験したいと思ったこともきっかけの一つです。

受入先の先生方から学んだこと、子どもたちから学んだこと

実際に生徒たち、一人一人のペースに合わせて関わっていくことの大切さを学びました。

教育ボランティアをやってみてよかったと思うこと

生徒はひとりひとり違い、様子は様々で、多様な生徒の実態や先生の関わり方をみて、学ぶことができました。先生方から生徒とのかかわりにアドバイスをいただく機会も多く、生徒を見る際の視点が広がったと思います。

教育ボランティア活動を行う際、教育実習の前と後では何か違いがありますか？

まだ1年生なので教育実習は未経験です。教育ボランティアでの経験を教育実習でも活かせたらと思っています。

教育ボランティア活動を始めようと考えている学生へのアドバイス

教育ボランティアを始めるかどうか迷っていたら、学校を知ることのできるたくさんの学びがありますので、一歩踏み出してみてください。



＜生徒への学習支援の様子＞

鈴木 仁 校長先生のお話

教育ボランティアの学生は、多忙な教育現場を支えてくれる大事な存在です。本校に来ている教育ボランティアの学生は、皆さんモチベーションが高く、生徒一人一人に寄り添いながら、自然なサポートをしてくれています。学校現場では生徒、保護者、地域の方々、同僚、多様な人々と関わっていかなければなりません。教育ボランティアの経験の中で、自主的に様々な人々と関わる人間力も養われると思います。教師として子どもと関わる楽しさや教職の素晴らしさを、多くの学生に伝えたいと思っています。

◇訪問を終えて

小高さんが、生き生きと子どもたちと関わっている姿が印象的でした。また、教育ボランティア活動を通して、教師として大切なたくさんのことを学んでいると思いました。日頃の教育ボランティア活動の受け入れや今回の学校訪問に際しまして、東中学校の先生方のご配慮に心から感謝致します。